

【県内産地の気温の推移】

本年（2026 年作）の 11～2 月の気温の推移は図 1 のとおりです。11 月上旬から 12 月中旬までは、平年と同程度もしくは低く推移しました。一方で、12 月下旬から 1 月中旬までは、平年と同程度もしくは高く推移しました。その後、1 月下旬から 2 月上旬は平年よりも低く、2 月中旬以降は平年よりも高く推移しています。

本年度の県内の自発休眠覚醒日は概ね 2 月上旬～下旬となり、前年に比べ、千葉市などは早く、市原市が遅く、その他の地域では同程度になりました（表 1）。千葉市では、12 月中旬まで気温が平年と同程度か低く推移したため、前年よりも早くなりました。

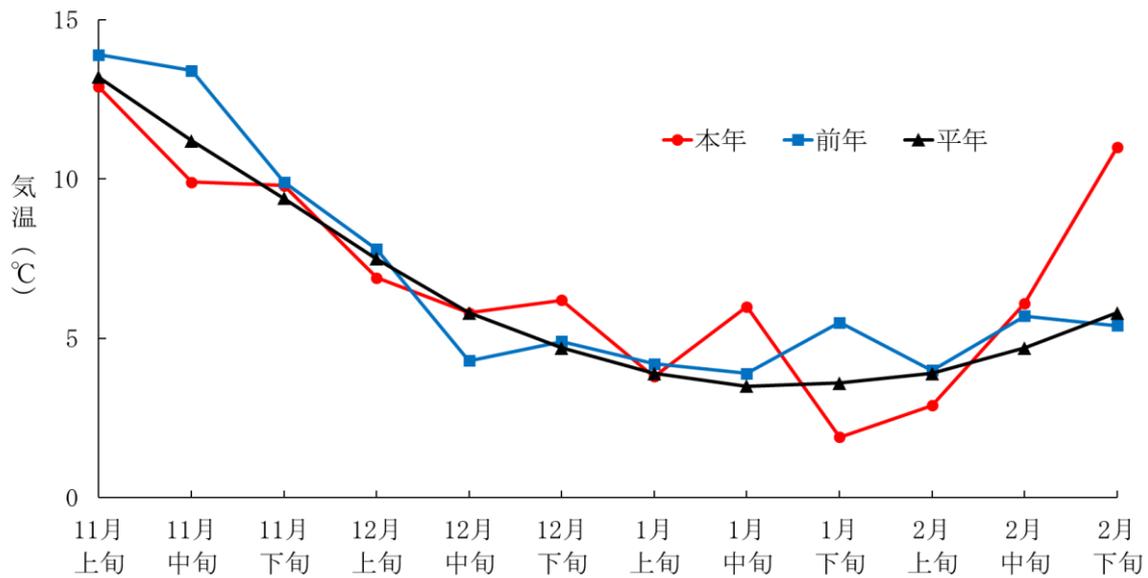


図 1 令和 7 年 11 月～令和 8 年 2 月の気温 (アメダス佐倉)

表 1 県内各地の自発休眠覚醒日 (3月2日時点)

地域	自発休眠覚醒日	
	本年	前年
千葉市、印西市、四街道市	2月9日	2月13日
市川市、鎌ヶ谷市、八千代市	2月23日	2月22日
市原市	3月5日	2月28日
木更津市、いすみ市 (内陸部)	2月17日	2月21日
旭市	2月20日	2月20日
一宮町、いすみ市 (沿岸部)	2月24日	2月24日

【農林総研における耐凍性の変化】

農林総研では、寒さに対する花芽の抵抗性（耐凍性）の経時変化を調査しています。凍害発生危険温度（℃）は、その温度に最低気温が達すると腋花芽の半数が寒さで傷害を受ける温度で、この温度が最低気温に近いほど花芽枯死などが起こりやすくなります。農林総研で測定した凍害発生危険温度は、12月上旬や2月下旬に、最低気温との差が小さくなっているため、今後、注意が必要です（図2）。なお、本年は、温暖な産地を中心に成木の枝や苗木の枯死などの報告が多くなっています。

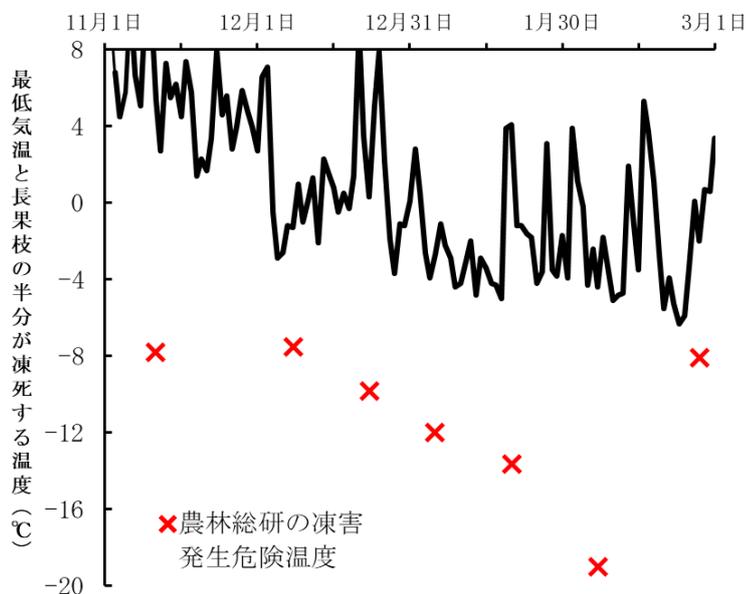


図2 農林総研「幸水」の凍害発生危険温度とアメダス佐倉の最低気温

注) 樹から中庸な枝を採取して、糖度 (Brix%) を測定後、伊東ら (2021) の方法に基づき算出

【県内産地の開花日予測】

気象庁の1か月予報（2月26日発表）では、今後は気温が平年より高く推移すると予測されています。表2は、2週間予報と過去3年間の平均気温の値を用いた開花日の予測結果です。本年は、千葉市（農林総研）では1週間程度早いなど、地域によって早めの予測となっています。最新の開花予測の結果については、ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）を御参照ください。

表2 3月2日時点の県内産地の開花予測

地域	品種	開花始	満開日
千葉市（農林総研）		4月1日	4月6日
市川市		4月9日	4月13日
印西市		4月6日	4月12日
市原市		4月18日	4月21日
木更津市	幸水	4月1日	4月7日
柏市		4月9日	-
香取市		4月6日	-
一宮町		4月7日	-
いすみ市		4月8日	-
千葉市（農林総研）		3月28日	4月4日
四街道市		3月31日	4月7日
鎌ヶ谷市	豊水	4月9日	4月13日
八千代市		4月7日	4月10日
旭市		4月8日	4月11日

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>

ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）はこちら

